

令和5年度 江戸川区立葛西中学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	「豊かな心」 ・自ら進んで学ぼう ・責任を果たそう ・健康な生活を送ろう	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	・保護者にとって、子どもを通わせてよかったと思える学校 ・「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」をバランスよく備えた生徒 ・人権尊重の精神に富み、自身の職務に専念し、生徒・保護者から信頼される教師
--------	---	----------------------------	--

前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>・各行事においては、昨年度は感染対策を実施しながら、すべての行事を実施することができた。 ・学習タブレットを活用した授業も、学校全体で軌道に乗り、活用する授業も非常に多くなった。 <課題>・コロナ対策による影響か、不登校生徒の人数が非常に多くなっている。学校の求心力を高め、不登校の生徒数を減少させること。 ・ICTの活用は、授業だけでなく、校務にも積極的に活用し、働き方改革につなげていくこと。退勤
-------------------	---

教育委員会重点課題	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・校内研修(都教委訪問等)等において、全教員が一人一回以上、研究授業を実施。 ・学力に課題のある生徒に対して、学習習慣を身に付けさせるために、補習教室の委託会社トライと連携を強化し、年間を通して、補習教室の出席率を向上させる。	・生徒授業評価において、「分かる授業の設問」において、肯定的意見が80%以上。 ・参加生徒において、出席率80%以上。	B	B	・都教委訪問による、研究授業は9月22日に実施予定。 ・今年度より、参加者を集めるに当たり、事前の面談等で、参加に対する意識の確認を行ったため、現在のところ出席率は90%以上である。学力向上に向け、学習への意欲を高めていく。	B	・学校だけでなく、多方面で、先生方の研修の機会をつくってほしい。 ・補習教室に、生徒が今後も積極的に参加してほしい。	・教師の授業改善は、継続的に実施していく。 ・補習教室の参加率は、2学期以降に低下する傾向があるので、生徒をいざし、現状を維持していく。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 <図書館の活用の更なる充実> ・図書館の活用の充実	・各学年において、読書紹介や新聞づくりなどに向けて探究的活動を行い発表を行う。年1回以上実施する。作成した作品を、調べる学習コンクール、読書科コンクールに出品する。 ・学校図書による、学校図書館の整備と開放と学校応援団によるボランティアの企画と整備	・読書科に取り組み、図書館の活用において、保護者アンケートの肯定的意見70%以上。	B	B	・探究的な活動の足場として、夏休み等を利用して、読者科コンクールに向けての作品づくりを行った。 ・1学期に、学校応援団によるボランティア活動を1回実施した。今後、2回を予定している。	A	・読書は、非常に大切な活動であるので、朝読書も含め、継続して指導にあたってほしい。	・来年度の読書科の具体的な取組について、各学年の年間指導指導計画を見直す。 ・図書館ボランティアも含めて、図書館を利用した活動を増やし、本への興味・関心を広げる。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	・年間を通して、体育の授業において、5分の補強運動と3分のランニングを実施する。 ・昼休みの「外遊び」の奨励	・生徒授業評価アンケートにおいて、「自分が体力がついた」と考える生徒70%以上	B	B	・体育の授業において、5分以上の補強運動とランニングを継続して実施している。成果は2学期に終わりの、生徒授業評価アンケートにおいて検証する。	B	・今の生徒は、体力面で心配な生徒がたくさんいる。部活動も含め、体力向上をお願いしたい。	・補強運動と昼休みの外遊びを継続的に指導する。 ・運動部の活動の活性化を図る。
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・ユニバーサルデザインの視点を授業にどのようにとりいれるかを狙いとした研修を実施。 ・特別支援コーディネーターが特別支援専門員、心理士、SCとの連携を強化し教育相談委員会を通して、エンカレッジルームの活用を促進する。	・特別支援教育に対する保護者の学校評価アンケートにおいて肯定的意見、80%以上	B	B	・教育相談委員会を通して、各生徒の課題の共通理解や各生徒への組織的な対応は強化されてきている。今後も組織的な対応を基本として、エンカレッジルーム(別室支援)の活用を促進していく。	B	・個別な対応が必要な生徒が多く、先生方も非常に大変であると感じます。	・教育相談部を充実させ、全校体制で支援が必要な生徒への対応のさらなる強化を図る。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hupaer-QUの活用	・不登校生徒等、なかなか教室に入ることができない生徒に対して、別室登校、学校サポート教室等の外部機関への通室など普通教室以外への登校を、SC、SSW等と速やかに連携し円滑に進める。 ・hupaer-QUを年2回実施する。調査結果をもとに、外部講師を招き、よりよい学級づくりのための研修を実施し、学級の改善を図る。	・不登校生徒において、改善傾向を示す生徒50%以上。 ・2回目のhupaer-QUにおいて、改善傾向の示す学級70%以上。	B	B	・SSWとの連携により対応している事案が増加している。9月より別室指導支援員の配置が決まり、運営が開始になった。 ・1回目のhupaer-QUを5月に実施、6月に研修会を実施し、改善策について研修、討議を行った。	B	・不登校生徒の増加は、学校だけの問題ではないと感じる。	・教育相談委員会を通して、不登校生徒の対応をさらに速やかに外部機関等、実態に応じた機関と連携をできるように促し、改善傾向を示す事例を増加させる。 ・hupaer-QUの研修の2回目を12月に実施し、生徒にとってさらによりよいクラス環境を構築する。
地域に広く開かれた学校(園)の表現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校日記や学校の情報を積極的にホームページで発信し、随時更新する。 ・年4回の土曜日の学校公開、各行事は感染症対策を実施しながらも、入場人数の制限を設けずに実施する。	・保護者アンケートにおいて、開かれた学校の項目の肯定的な意見、80%以上。	B	B	・学校日記で、随時学校の情報を発信している。今後は、更新を積極的に行う、教職員を増やしていくことが課題である。 ・学校公開は、9月現在2回実施し、昨年度より参加者が増加している。tetoru等を利用して、より参観しやすい環境をつくっていく。	B	・ホームページ等で発信をしていただきありがとうございます。「tetoru」のさらなる活用をよろしくお願いたします。	・ホームページの更新は、継続して実施していく。 ・「tetoru」を利用して、保護者が学校公開や学校行事に参観しやすい環境のさらなる構築を図る。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・年3回の学校評議員会において学校関係者評価の内容の検討、改善を図る。	・学校関係者評価の内容に関して、肯定的意見80パーセント以上。	A	A	年度当初、中間と学校評議員会において、2回検証を実施している。	A	・いつもありがとうございます。	・第3回の評議員会をより活発な意見交換の場とする。
特色ある教育の展開	<防災教育の充実> 災害発生時の対応の場合の共助の心の育成	・夏休みにPTAと連携した防災体験教室を夏休み実施	・実施後のアンケートにおいて、肯定的な意見80%以上	A	A	9月3日にPTA、地域防災課、消防署等と連携して実施した。実施後の、生徒・児童のアンケートでは、ほぼ全員肯定的な意見であった。	A	・子供たちにとっても素晴らしい体験である。来年度も継続していきたい。	・9月3日に実施済みである。
	<心を育む教育の充実> 鑑賞を通して、豊かな心の育成	・11月に、全校生徒対象に、生徒が楽しむことができる、鑑賞もしくは体験活動を実施する。	・実施後のアンケートにおいて、肯定的な意見80%以上	未	未	公演者の予定の関係で12月1日に実施することになった。	未	・よろしくお願いたします。	・12月1日のパントマイムの公演を、成功させる。